

経費と資産について

工場の稼働を止めずに行う工事において、その稼働を維持するために掛かる費用『**操業維持経費**』（工事エリアと操業エリアを区画する仮設工事や、操業エリアの設備等を守る養生費など）すべて経費扱いとなります。

耐震診断について

昭和 56 年以前の建物は現在の耐震基準とは異なる基準で建設されています。そのため、大地震時において倒壊する可能性の有無を確認する耐震診断を行うことをおすすめします。耐震診断にかかる費用はすべて経費扱いとなります。

設備の更新について

建物の設備（エアコン等）の更新においては、中小企業経営強化税制により法人税について即時償却、または取得額の 10% の税額控除を選択適応できます。（条件に適応する場合に限る）※現時点では令和 2 年度末までの予定

助成金について

各地方自治体によっては、建築関連工事に対する助成金制度を設けている場合があります。例えば、東京都大田区では、ある一定の基準を満たす製造業を営む中小企業が行う建築工事に対して、最大 1,000 万円の助成を行う制度があります。

※工事条件により、該当しない場合がございます。詳細はご訪問の際に弊社営業担当よりご説明させていただきます。

工場

モノヨツクル

ツクル

今なにが出来るか？



ヨシザワグループは
 東京・京都・ベトナムから
 ニッポンの工場を全面的に支援します!

まずはお気軽にお問い合わせください。

0120-17-4430

HPはこちら



〔工場建て替え・操業を止めない工事〕

yoshizawa 株式会社ヨシザワ建築構造設計

東京本社 〒103-0007
 東京都中央区日本橋浜町2-13-6 MUTOH浜町ビル3F
 TEL 03-5641-4430 / FAX 03-5641-4431

〔システム建築専門〕

ganko ガンコ建築株式会社

東京本社 〒103-0015
 東京都中央区日本橋箱崎町35-3 BRICK GATE 日本橋3F
 TEL 03-5645-5515 / FAX 03-5645-5575

〔西日本(名古屋より西)での工場建て替え〕

yoshizawa ヨシザワ想造建築株式会社

京都本社 〒600-8009
 京都府京都市下京区四条通室町東入函谷鉦町79
 ヤサカ四条烏丸ビル6F
 TEL 075-746-5391 / FAX 075-746-5399

〔海外進出・BIM(3次元モデリング)〕

YDA VIETNAM.,CO.LTD

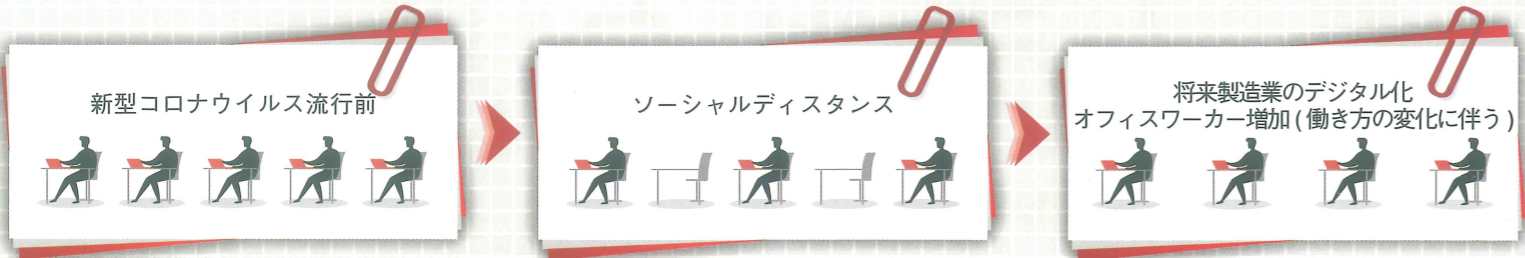
ダナン本社 M(Floor) V.Startup Office
 Danang F.Home Building at the number 16
 Ly Thuong Kiet Street, Hai Chau District,
 Da Nang City, Viet Nam

未だ収束の兆しを見ない新型コロナウイルスの脅威。目まぐるしく進化する世の中。この先の製造業を考え、今なにが出来るか？

現在、私たちの取り巻く環境は実に目まぐるしく変化しています。今年は特になんといっても新型コロナウイルスの脅威にはじまり、未だどのように経営の舵を切れればよいのか？見えない出口に日々悩まれている事と思われます。

また、片や次世代テクノロジーの情報は日々更新され、常に目まぐるしく変化しています。製造業においても昨今の AI や IoT 技術の進歩により、近い将来今までの製造業の在り方が一変する、いわゆる DX (デジタルトランスフォーメーション) の波が訪れる事になると想定されます。そんな中、今何が出来るか？を考えた時、以下の事は考えられるかと思えます。

オフィスの在り方 >>>> 時代と共に変化する



A. 将来を見据えたオフィスリニューアル

- POINT**
- ☑OA化
 - ☑フリーアドレス促進
 - ☑スペース有効活用
 - ☑リクルート対策
- 変化に対する手達てとして考えられること。

工場現場の在り方 >>>> 時代が変化しても変わらない



A. 耐震補強、室内環境の整備、省エネ対策

- POINT**
- ☑安全性の確保
 - ☑品質管理
 - ☑断熱性
 - ☑省エネ対策(経費削減)
- 時代が変化しても、工場に求め続けられることは変わらない。

時代の変化に即座に対応！！オフィスリニューアル事例

株式会社ヨシザワ建築構造設計：箱崎事務所

Before

工期はわずか5日!!

株式会社ヨシザワ建築構造設計は BIM を活用し、今後工場建築だけでなく、オフィスリニューアルや外装デザインの提案も積極的に行います。

After

費用：¥3,000,000(設備除く)
規模：約94.0m²(約28坪)



テクノロジーが進化しても、工場に求められる不変的性能を満たす。

安全性確保

耐震補強工事

大地震時において最優先となるのは、従業員の人命です。そのため、工場においては地震時に倒壊の恐れがなく、避難ができることが求められます。したがって、築年数の長い建物や現行の耐震基準に満たない建物は、耐震補強を行う必要があります。事業継続においても有効です。

断熱性UP

屋根・壁改修工事

経年劣化により屋根や外壁から雨漏れ等の漏水が起こりやすくなります。また、修繕工事と併せて断熱性能を向上させる工事も可能なため、夏場における工場内の環境改善にもつなげることが可能です。さらに、現在スレート材を使用されている工場においては飛散防止対策の一環にもなるためおすすめ致します。

室内環境整備

設備更新工事 (LED、空調、etc.)

製造業における品質確保に対する重要な要素の一つに室内環境設備の充実があげられます。照明や空調の性能UPにより、室内環境の改善だけでなく工場の省エネ効果も得られます。そのため、工場の品質管理においては定期的な設備機器の更新は不可欠になります。